



シジュウカラ

空のいきもの発見隊 速報!

2018年3月11日
都立林試の森公園にて

公益財団法人 日本野鳥の会 箱田敦只氏、堀本理華氏の指導で開催しました。25名の方々にご参加いただき、ヒヨドリやメジロ、シロハラなど合計で12種の野鳥を発見しました!

バードウォッチングのコツは音をよくきくこと!



ものさし鳥の大きさを覚えましょう!



双眼鏡の練習中♪



ハクセキレイ

「バードウォッチングで一番のコツは目で見るよりも音をよくきくことです。耳を澄ませ、鳥の気配を感じ、それから目で確認して双眼鏡でしっかり観察します。」と先生。野鳥を見分けるときの大きさの基準になる“ものさし鳥”を学んだり、双眼鏡の使い方を練習したりしました。

ものさし鳥：スズメ約15cm、ムクドリ約25cm、キジバト約30cm、カラス約50cmがベースです。身近でよく見る鳥と比べておおまかに大きさの見当をつけます。(裏面「いきものたちを見わける」を参照)

鳥を発見!



あの木にシロハラがとまっているよ!



シロハラ



鳥のフンにはなにがはいているかな?

満開の河津桜にメジロがいっぱい!



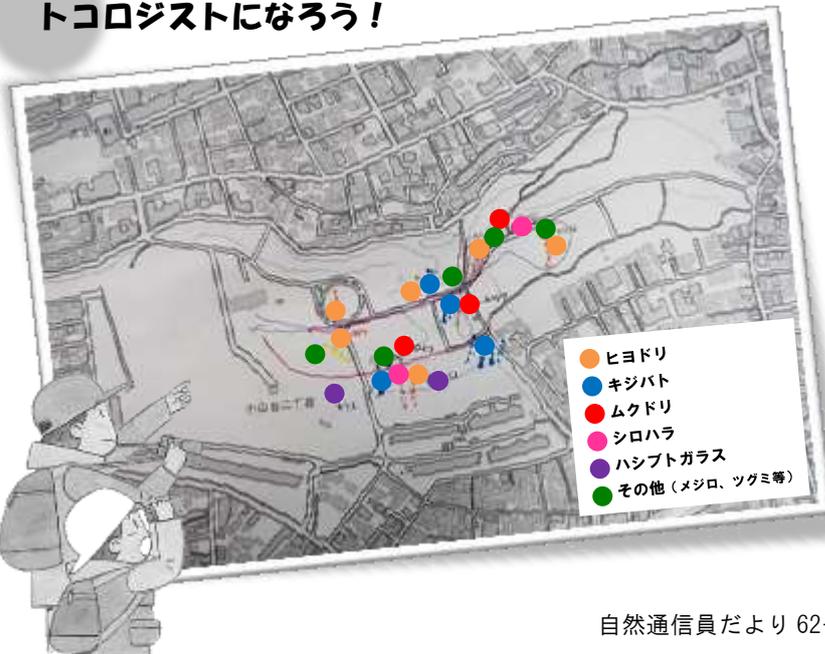
メジロ



発見した野鳥

ハクセキレイ(1羽) ヒヨドリ(24羽) ツグミ(1羽)
カワウ(2羽)(上空通過) ハシブトガラス(3羽) シロハラ(2羽)
ワカケホンセイインコ(4羽) キジバト(4羽) ウグイス(1羽)
メジロ(10羽) ムクドリ(5羽) シジュウカラ(1羽)

トコロジストになろう!



「いきものを観察したら“いきもの地図”を作ってみましょう。いきもの地図を作ったら、みんなで発表しあうのも良いですね。本日の発見隊をきっかけに、皆さんにも“トコロジスト”になってもらいたいと思います。」と先生。左の写真は、今回の発見隊で観察した野鳥をマーキングした“いきもの地図”です。

いきもの地図：民家や細い道まで細かく照合できるような5000分の1や2000分の1の縮尺の地図を使い、いきものが実際にいた場所を記録します。

トコロジスト：『自分の場所【トコロ】の専門家【ジスト】』のことで、近所の川や公園など身近な場所で自然の観察や記録を行います。鳥や虫など身近にいるいきものに愛着が湧いてきますし、地域への愛着に繋がります。

いきものたちを見わける

(出典:「いきもの气象台観察ノート(2012年3月 目黒区)」)

—自然通信員・季節のスケッチ—

いきものたちを見わける

いきものたちはいろいろな方法で「自己紹介」をしています
ここにあるヒントを参考にいきもの名前を調べてみましょう。



シジュウカラ



ホオジロ

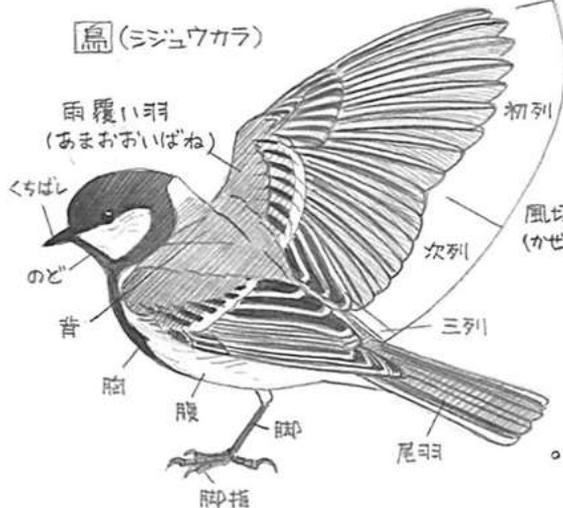
・ホオジロもシジュウカラ
もどちうもほおが白
い鳥
(ホオジロは目黒区
では少ない鳥)

キノコ (ツルタケダマシ)



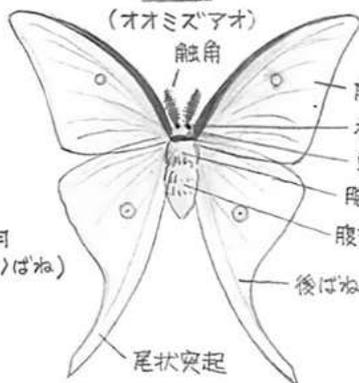
・キノコでは、ツボや
ツバの有無やひだ
の形がヒントになる
ことがあります。

鳥 (シジュウカラ)



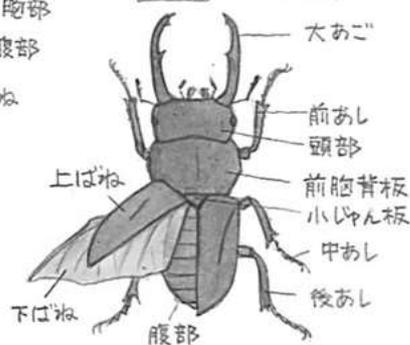
昆虫

(オオミズアオ)



・からだの呼び方を知る

昆虫 (コクワガタ)



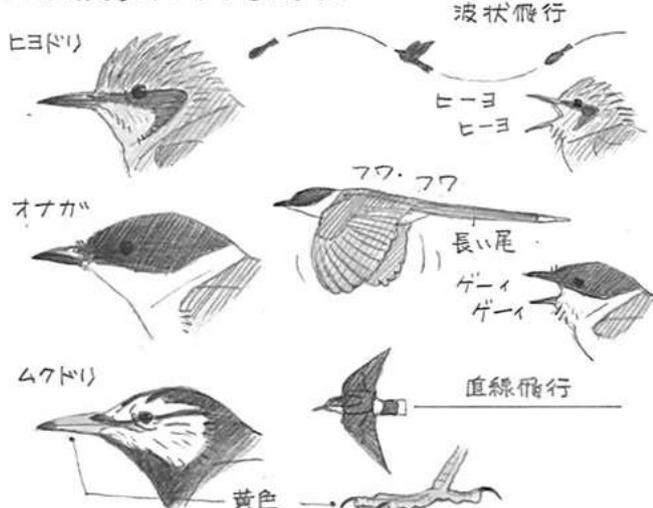
いきものをものさしに使う

大きさ(体長など)は、名前を知る大きな手がかり
鳥などは、目ごうよく見ている種類をものさしにして
みましょう。



Xシロ 体長12cm スズメ 14cm ムクドリ 24cm スズバト 33cm ハシブトガラス 57cm コサザ 首をうずめたところ

似たもののどうしを比べる



・体の特徴のほか、声や歩いたり飛んだりする動作も
観察してみましょう。

スケッチもしてみる

たとえば、植物の特徴は写真で撮ることは難しいもの。
花や葉をフィールドノートに描いて種類を見分ける手が
かりにしましょう。



イラスト：水谷高英